

# 風水害対策

大雨や強風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

## 注意報

災害のおそれがあるときに発表されます。  
防災ハザードマップで避難行動を確認しましょう。

## 警報

重大な災害のおそれがあるときに発表されます。

## 特別警報

数十年に一度の大災害が起きると予想される場合に発表されます。危険な区域から避難できていない方は、命を守るための最善の行動をとりましょう。

### 雨の強さと降り方

(1時間雨量:mm)				
やや強い雨 10以上~20未満	強い雨 20以上~30未満	激しい雨 30以上~50未満	非常に激しい雨 50以上~80未満	猛烈な雨 80以上~
雨の音で話しが良く聞き取れない。 ●ザーザーと降る	ワイパーを速くしても見づらい。側溝や下水、小さな川があふれる。 ●どしゃ降り	傘を差していても濡れる。 ●バケツをひっくり返したように降る	傘は全く役に立たない。水しぶきであたり一面白っぽくなる。 ●滝のように降る	雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要。 ●恐怖を感じる ●息苦しくなるような圧迫感がある

### 風の強さと吹き方

(平均風速:m/秒)				
10以上~15未満	15以上~20未満	20以上~25未満	25以上~	
風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けない。転倒する人もいる。	しっかりと身体を保持しないと転倒する。風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。	立ていられない。屋外での行動は危険。樹木が根こそぎ倒れはじめる。	

### 台風・集中豪雨の注意点

台風や集中豪雨は、たびたび大きな被害をもたらします。気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。

大きさ	風速15m/s以上の半径
大型(大きい)	500km以上800km未満
超大型(非常に大きい)	800km以上

強さ	最大風速
強い	33m/s以上44m/s未満
非常に強い	44m/s以上54m/s未満
猛烈な	54m/s以上

- ◆テレビやラジオなどの気象情報に注意する。
- ◆町や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- ◆停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- ◆非常時持出品を準備しておく。
- ◆早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常に備える。
- ◆飲料水や食料を数日分確保しておく。
- ◆浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- ◆危険な地域では、いつでも避難できるよう準備をする。



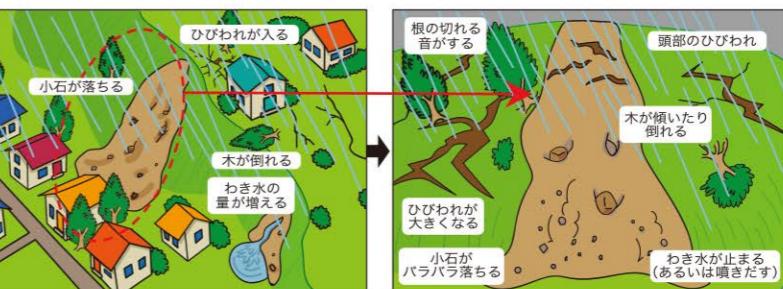
# 土砂災害対策

土砂災害警戒情報が発表されていなくても、普段と異なる状況「土砂災害の前兆」に気付いた場合には、直ちに周りの人と安全な場所へ避難してください。日ごろから危険箇所、避難場所、避難経路を確認しておくことも重要です。

## 土砂災害の種類

### がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害が発生する割合も高くなっています。



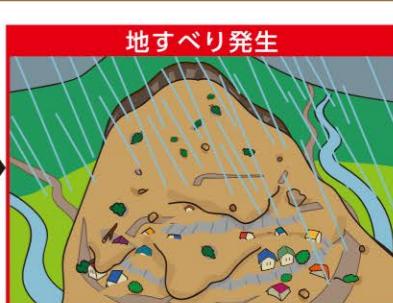
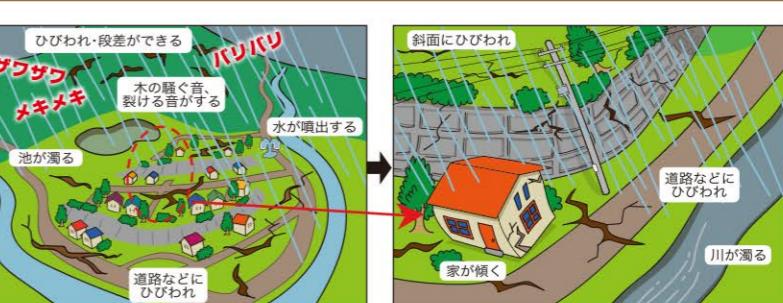
### 土石流

山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20~40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。



### 地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象をいいます。一般的に移動土塊量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すると、これを完全に停止させることは非常に困難です。



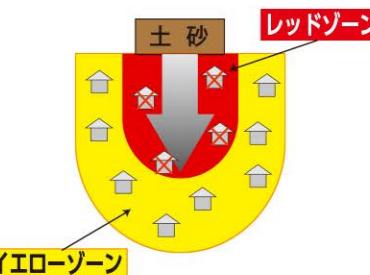
※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

## 危険箇所内的重要性の高い箇所について

土砂災害防止法に基づき、埼玉県が計画的に基礎調査を実施し、危険箇所内的重要性の高い箇所について、「土砂災害特別警戒区域」と「土砂災害警戒区域」の指定及び見直しを行っています。

### 土砂災害 特別警戒区域(レッドゾーン)

建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域



### 土砂災害 警戒区域(イエローゾーン)

土砂災害のおそれがある区域

## 土砂災害の予防策

- 日頃から避難する場所や道路などを確認しておきましょう。
- 所有地内にがけがある方は、がけの周辺を見回り、次のようなことを心がけましょう。



### とっさの避難!

がけの近くの家にいる場合は、できるだけがけから離れた部屋へすぐに移動!

